

Rinnai

2014年度 第2四半期 決算説明

2014年11月5日

2014年度 第2四半期 連結決算要点

1

売上高:1367.6億円 (前期比 +7.4%)

好調な海外での販売が増収を牽引

営業利益:131.6億円 (前期比 +6.1%)

中国、韓国での利益改善と、リンナイインドネシア連結化で増益

経常利益:142.5億円 (前期比 +3.3%)

為替差益の減少も 営業利益の改善で増益

四半期純利益:87.0億円 (前期比 +0.8%)

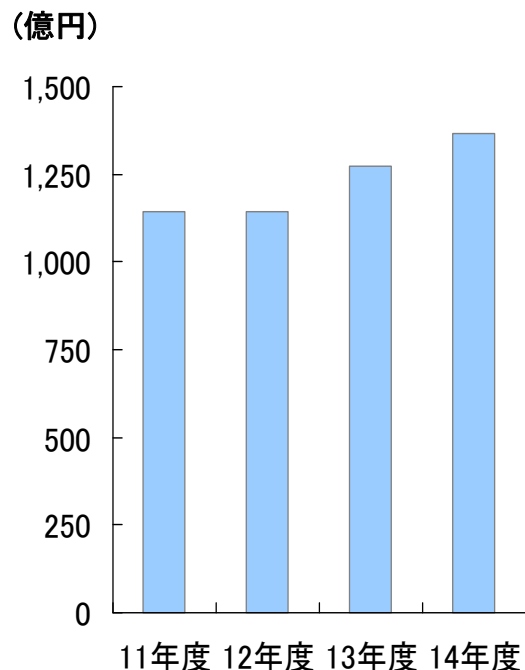
少数株主持分の変化により微増益

- ・中計『ジャンプUP 2014』最終年度の上期計画未達も
売上高、営業利益、経常利益、純利益とも過去最高を更新
- ・営業利益率は9.6%と高水準

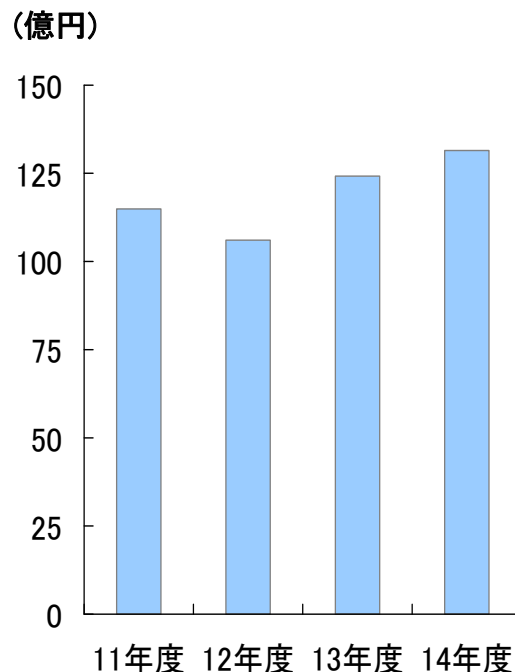
- ・**リンナイインドネシアを連結子会社化** (2013年度よりB/Sに反映、2014年度よりP/Lに取込)

連結業績推移 (第2四半期)

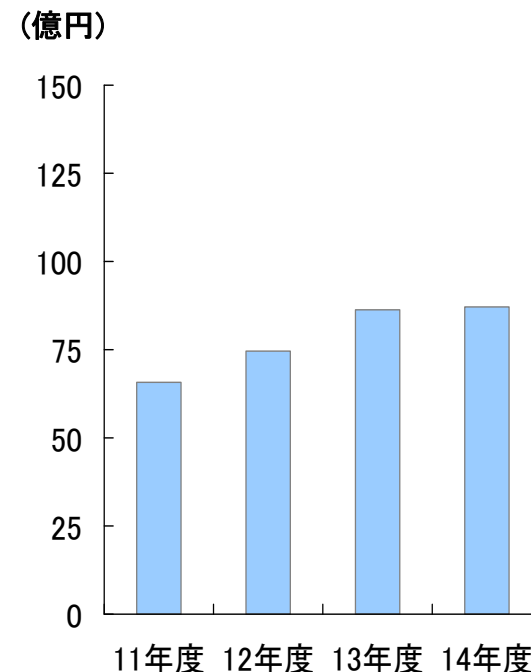
売上高



営業利益



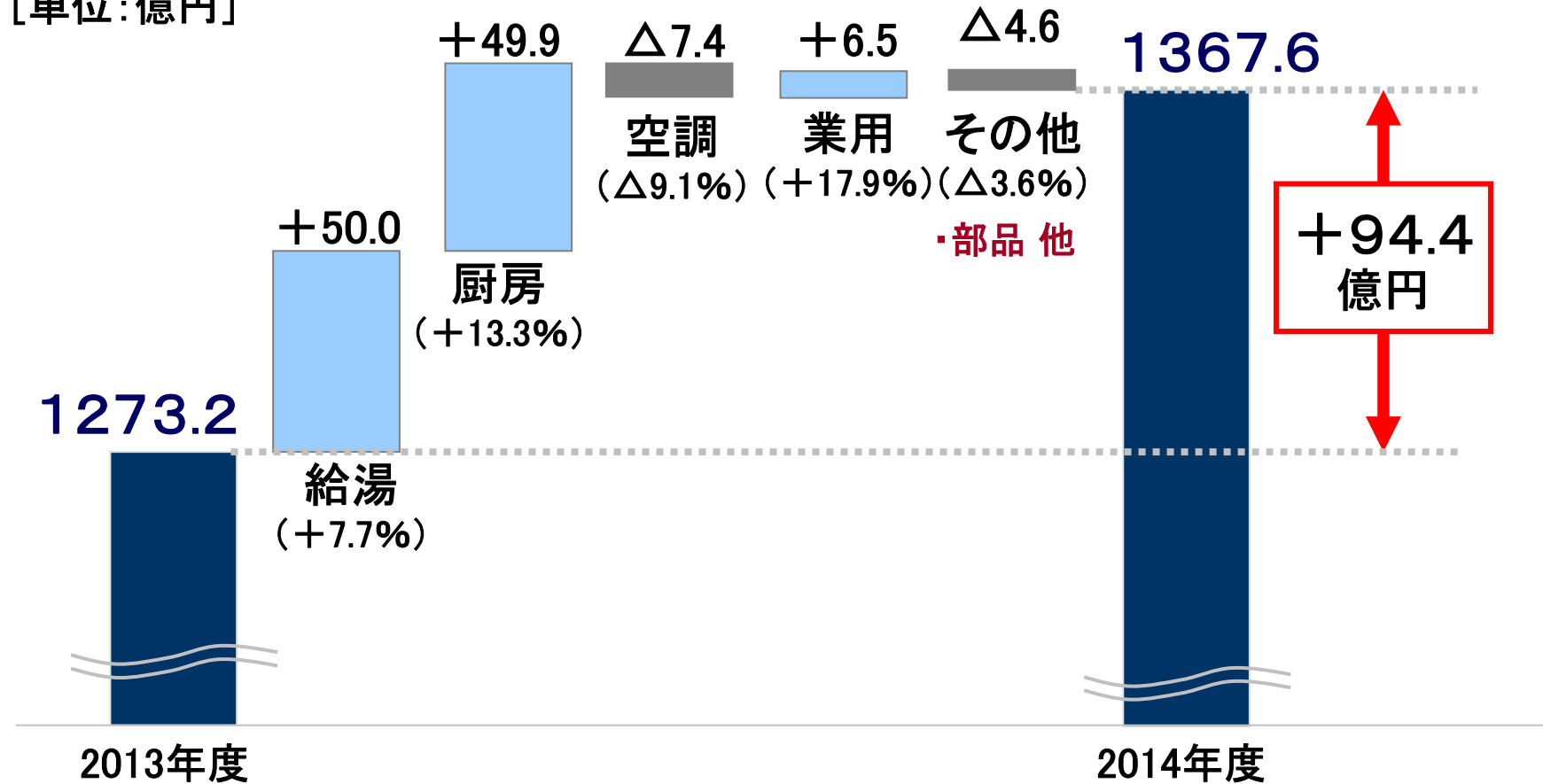
四半期純利益



・売上高、営業利益は2期連続、純利益は3期連続で増加
安定した実質成長を継続

2014年度 第2四半期 連結売上分析(商品別)

[単位:億円]



- ・給湯分野は中、米、韓で販売好調。日本では高付加価値商品の販売が堅調に推移
- ・厨房分野ではテーブルコンロが主力のリンナイインドネシア連結化で大幅増

2014年度 第2四半期 連結損益実績内訳

[単位:億円]

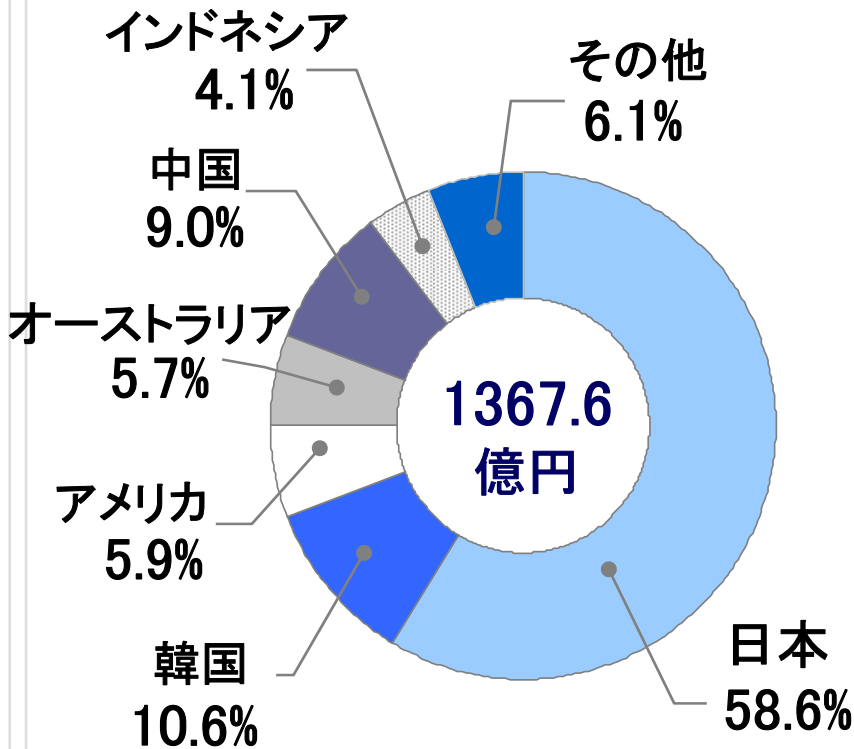
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	1367.6	+7.4%	131.6	+6.1%	9.6%	△0.1P



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
リンナイ	872.5	△1.9%	76.4	△8.3%	8.8%	△0.6P
国内関連	475.9	+5.8%	11.3	+83.2%	2.4%	+1.0P
海外関連	603.2	+27.4%	48.6	+40.2%	8.1%	+0.7P
合計	1951.7	+7.7%	136.4	+9.8%	7.0%	+0.1P

連結売上高 セグメント(地域)別構成比

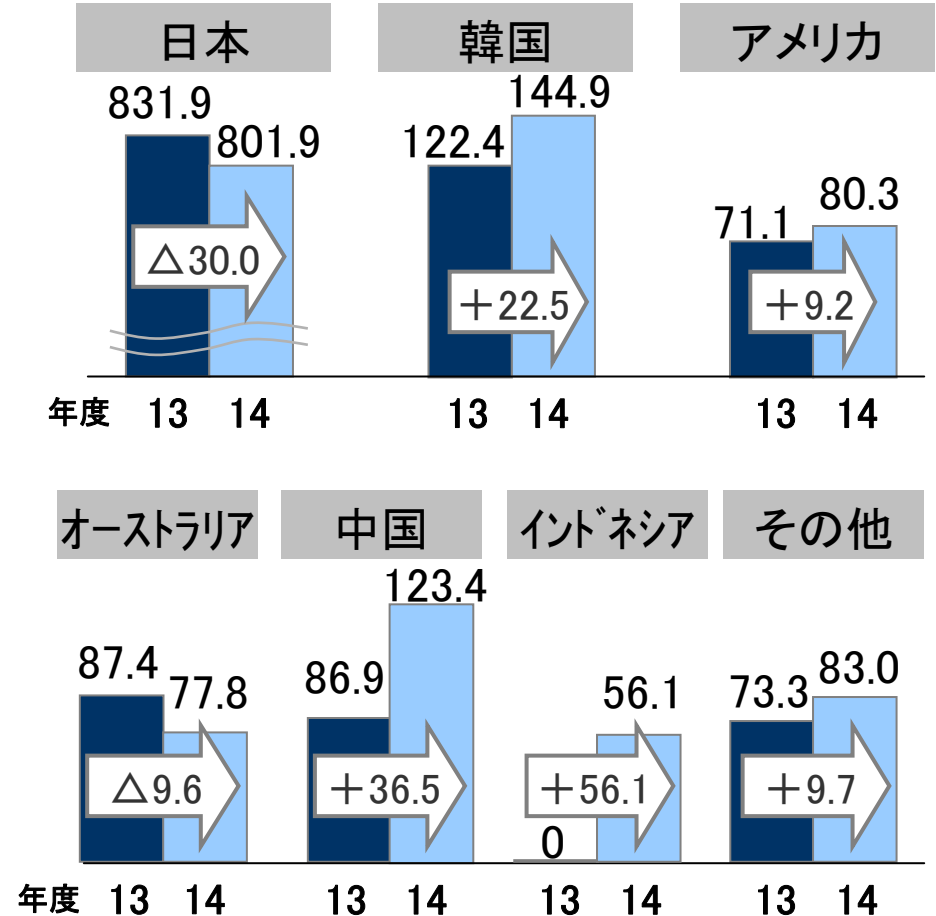
2014年度2Q 売上高



※その他:台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

セグメント(地域)別前年比較

[単位:億円]



商品別売上実績（給湯機器）

[単位:億円]	2013年度 2Q	2014年度 2Q	前期比 増減率
日本	386.2	376.6	△2.5%
韓国	45.5	60.1	+32.3%
アメリカ	66.5	73.5	+10.5%
オーストラリア	42.5	38.7	△8.9%
中国	70.3	103.8	+47.5%
その他	36.2	44.5	+23.0%
合計	647.4	697.5	+7.7%

商品構成比：51.0%



日本

アメリカ



オーストラリア

- ・国内は給湯暖房システム等、高付加価値商品の販売は堅調に推移
- ・アメリカでの景気回復、中国での生活水準向上に伴い現地販売好調
- ・韓国では物件を中心に床暖房用高効率ボイラーが伸長

商品別売上実績（厨房機器）

[単位:億円]	2013年度 2Q	2014年度 2Q	前期比 増減率
日本	310.5	293.8	△5.4%
韓国	34.4	43.6	+26.6%
中国	13.3	16.3	+22.7%
インドネシア	-	52.1	-
その他	18.0	20.3	+12.7%
合計	376.3	426.2	+13.3%

商品構成比：31.2%



日本



韓国



インドネシア

- ・国内では消費税増税影響で、テーブルコンロを中心に売上が減少
- ・韓国ではコンロのセンサー化による商品単価アップで売上増
- ・テーブルコンロ主体のインドネシアが今期より加算

商品別売上実績（空調機器）

[単位:億円]	2013年度 2Q	2014年度 2Q	前期比 増減率
日本	39.9	35.1	△11.9%
韓国	0.2	0.5	+150.7%
アメリカ	3.9	6.1	+57.4%
オーストラリア	33.8	28.1	△16.8%
その他	3.9	4.4	+11.6%
合計	81.8	74.4	△9.1%

商品構成比：5.4%



日本

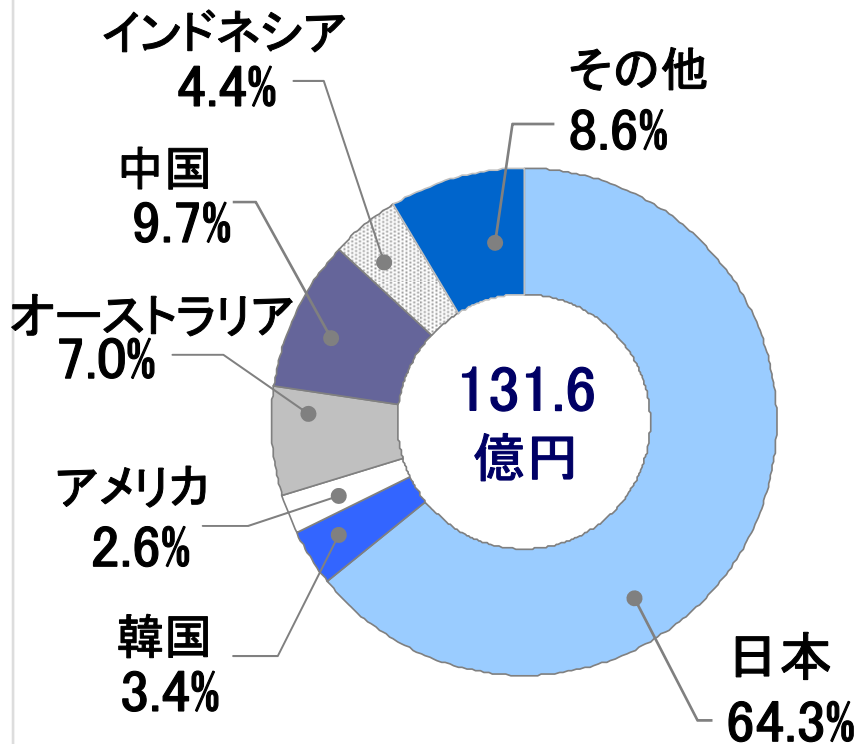


オーストラリア

- ・アメリカでは年初の寒波影響と、早期受注の拡大でFF暖房機が伸長
- ・オーストラリアでは、記録的暖冬影響で暖房機器売上が減少
- ・日本では主力商品であるファンヒータの早期受注が減少

連結営業利益 セグメント(地域)別構成比

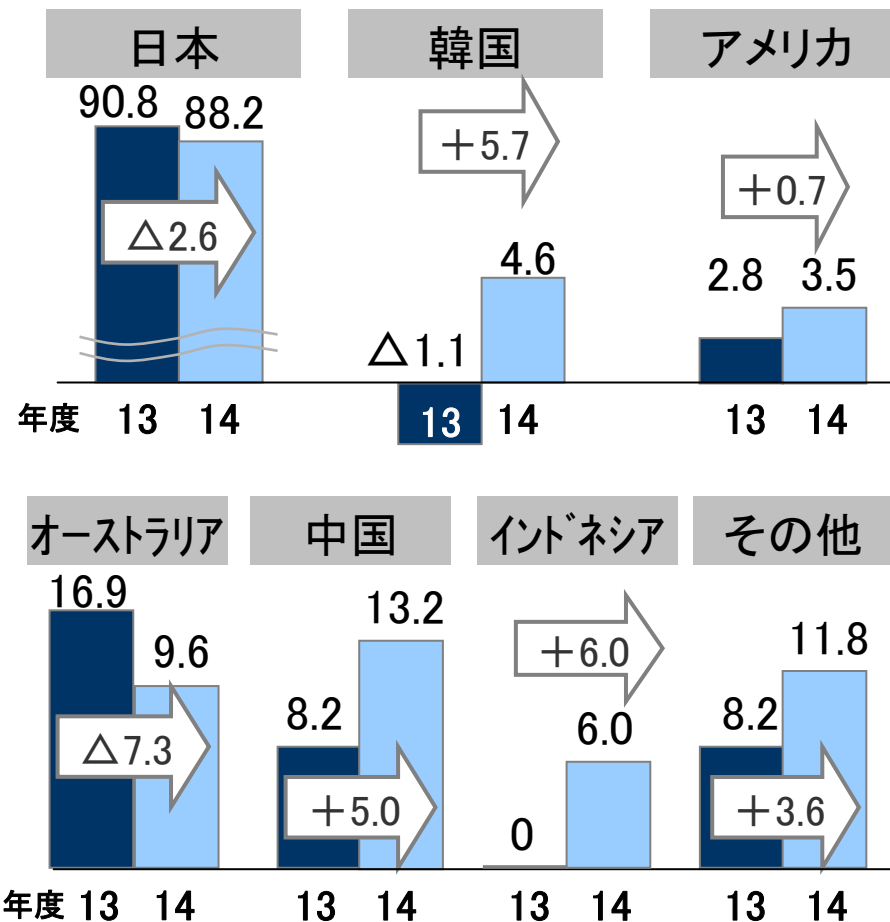
2014年度2Q 営業利益



※その他:台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

セグメント(地域)別前年比較

[単位:億円]



電気銅の動向

・前年単価を上回るも

年初想定820円/kg以下の水準で推移

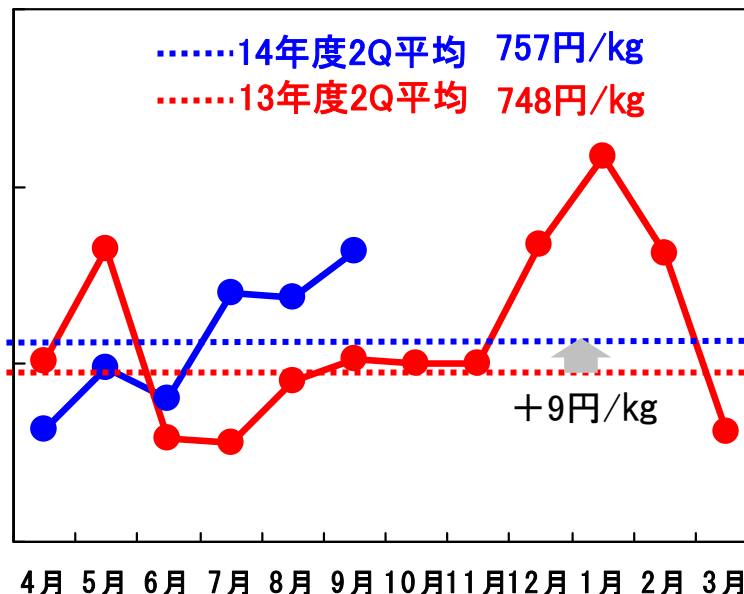
(円/kg)

850

800

750

700



平均単価

13年度
2Q

748

14年度
2Q

757

前期比
増減率

+1.2%

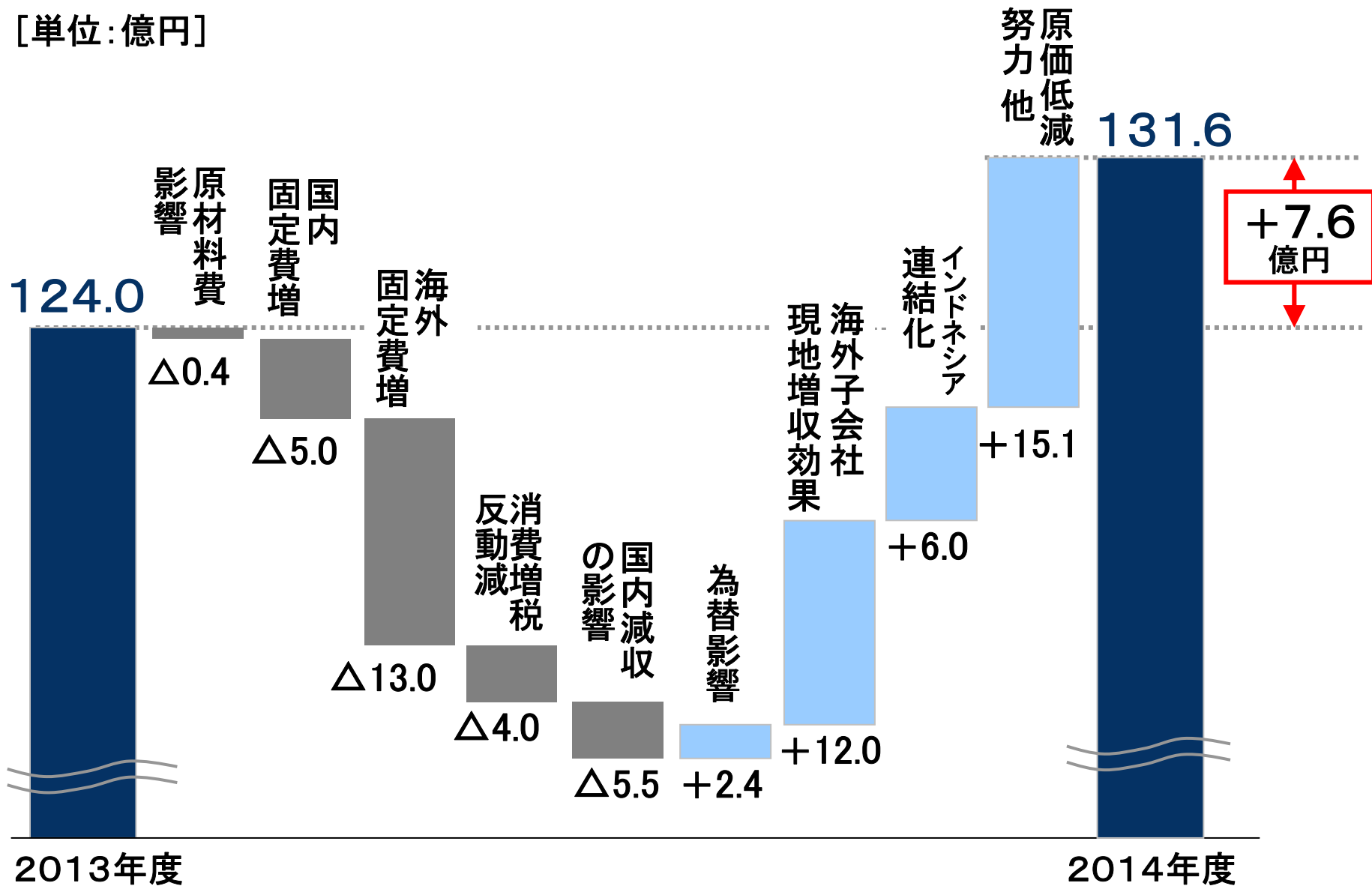
※使用箇所:給湯器(熱交換器等)

鉄鋼の動向

・鉄鋼材料は値上げ要請はあるが、昨年並みの水準で推移

2014年度 第2四半期 連結営業利益分析

[単位: 億円]



熱と暮らしを創造する Rinnai

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。